【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2004-208300(P2004-208300A)
【公開日】平成16年7月22日(2004.7.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-028
【出願番号】特願2003-418060(P2003-418060)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｄ　3/02　(2006.01)
Ｈ０３Ｌ　7/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｄ　3/02　Ａ
Ｈ０３Ｌ　7/08　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月13日(2006.12.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
復調された信号を生成する位相ロックループ（ＰＬＬ）位相復調器であって、
ＰＬＬのフィルタリングされた位相信号を受信して積分信号を生成する積分器と、
前記積分信号を等化する等化器と、
前記ＰＬＬの位相信号に前記等化された積分信号を結合して前記復調された信号を生成する加算器
を備える、位相復調器。
【請求項２】
前記等化器は、前記ＰＬＬに関する変調応答曲線をエミュレートするローパスフィルタである、請求項１に記載のＰＬＬ位相復調器。
【請求項３】
前記等化器は、前記ＰＬＬ復調器の復調利得を前記ＰＬＬの位相検出器利得に一致させる、請求項１に記載のＰＬＬ位相復調器。
【請求項４】
前記積分器は、最小周波数を超えるものを積分し、該最小周波数よりも下の周波数に対しては略平坦な利得をもたらす、請求項１に記載のＰＬＬ位相復調器。
【請求項５】
前記フィルタリングされた位相信号をさらにフィルタリングして第２の加算器へ出力信号を供給する較正フィルタであって、前記第２の加算器が前記出力信号と基準信号を結合して結合信号を生成することからなる、較正フィルタと、
第１のモードにおいて前記フィルタリングされた位相信号を前記積分器へ供給し、第２のモードにおいて前記結合信号を前記積分器へ供給するスイッチ
をさらに備える、請求項１に記載のＰＬＬ位相復調器。
【請求項６】
前記較正フィルタは、前記スイッチが前記第２のモードで動作するときに、前記ＰＬＬのループ帯域幅を低減するよう動作可能なローパスフィルタである、請求項５に記載のＰＬＬ位相復調器。

【請求項７】
前記第２の加算器に前記基準信号を供給するように動作可能な較正源をさらに備える、請求項５に記載のＰＬＬ位相復調器。